

# 令和4年度 学校経営計画案（静岡県立吉田特別支援学校 駿遠分教室）

## 1 教育理念 「つながり合い、学び合う」

- ・すべての人が地域の中で自分らしく、つながり合う共生社会の推進に貢献する学校
- ・一人一人の人権・個性を尊重し、自立と社会参加を目指し、仲間と共に学び合える学校

## 2 学校教育目標 「夢に向かって『いきいき、なかよく、すこやかに』学び、伸びゆく人」

- ・児童生徒一人一人が、自分の「夢や目標に向かって」取り組む姿を大切にする。
- ・学校生活のあらゆる場面で、児童生徒が、「いきいき（主体）・なかよく（かかわり）・すこやかに（健康）」取り組む姿を目指す。

## 3 目標具現化の柱

- (1) 【安全・安心】 自他を尊重する心情と互いに認め合う態度や人権感覚の向上  
児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる教育環境の整備  
事故や大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有
- (2) 【授業】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ  
児童生徒が自分の目標に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び伸びゆく授業改善  
自立と社会参加に向けたつながりある指導の充実
- (3) 【連携】 つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・家庭の連携強化  
**学校や児童生徒について、地域への理解啓発**

## 4 目指す教職員像

- (1) 児童生徒にとって 明るい笑顔で寄り添い、できることを増やしてくれる教職員
- (2) 保護者にとって 子どもたちが安心して学校に通え、成長を促してくれる教職員  
相談や要望に丁寧に対応し、必要な情報を提供してくれる教職員
- (3) 地域にとって いつでも明るく子どもと地域をつなぐ教職員

## 5 本年度の取組

※重点目標はゴシック体で記載、【 】内はキーワード

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安全 ・ 安心	自他を尊重する心情と互いに認め合う態度や人権感覚の向上 【人権感覚の更なる向上】	・人権に関する研修会（年2回）と定期的な人権チェック（年5回） ・「互いの良さを認め合える児童生徒」の育成を目指した道徳教育の実践 全校集会での読み聞かせ（年8回） 年間計画に取り入れた計画的実践	・「人権チェックシート」の項目を常に意識して指導ができた」と答える教職員 100% ・「児童生徒が互いの良さを認め合う関わりができた」と答える教職員 100%	生徒指導課 人権道徳教育推進委員会 各学部
	児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる環境の整備 【教育環境の整備】 【健康管理体制の強化】	・危険予知の視点から定期的な安全点検と施設整備（12回） ・日常の生活で起こるヒヤリハットの情報交換と危険予知トレーニングの実践（10回）	・重大事故発生 0件 ・「児童生徒にとって、安全で安心な生活環境を整えることができた。」と答える教職員 90%	防災課 保健食育課 各学部
		・「新しい生活様式」に基づき、毎朝の健康状態の確認 ・日々の衛生環境の整備及び対応の周知・実践	・「感染症防止対策・指導に取り組んでいる」と答える教職員 100%	保健食育課 各学部
	事故や大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有 【学校安全の強化】	・多様な災害を想定し、各係が実戦的に動く活動を取り入れた避難訓練（5回）、 ・マニュアルの周知と多様な犯罪を想定しての防犯訓練（2回）	・「危機管理体制とマニュアルを周知し、事故・災害時に児童生徒を安全に避難できる対応や体制整備ができた。」と答える教職員 100%	防災課 生徒指導課 保健食育課
	教育公務員としての倫理観の向上 【不祥事根絶】	・不祥事（情報漏洩、交通事犯、会計処理等）「0」を目指し、計画に沿った研修と日々の呼びかけの実施。	・個人情報紛失0件、交通加害事故・交通事犯0件 ・「教育公務員であることを自覚して行動している」と答える教職員 100%	職員安全衛生委員会 情報課
教職員が働きやすい職場の環境づくり 【業務改善と明るい職場づくり】	・業務改善アンケートの実施 職員の負担感が軽減するよう業務の効率化と会議の精選を行う。	・「職員の業務改善と明るい職場づくりへの意識が高まり、働きやすくなった」と答える教職員 90%		

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ 授 業	<p>新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ 【資質・能力の育成を目指した授業改善】</p> <p><b>児童生徒の的確な実態把握</b> 【<b>児童</b>:基本的生活習慣の確立】 【<b>職</b>:専門性の向上】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」について研修会の実施（12回） <b>6月、11月の研究授業(各1回)</b></li> <li><b>一人一授業の実施</b></li> <li>観点別目標設定と学習・授業評価のための資料作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「深い学び」についての理解が深まり、授業改善ができた」と答える教員 90%</li> </ul>	研修課 研修推進委員会 自立活動科 教務図書課 コーディネーター 各学部
	<p><b>ICT教育の推進</b> 【専門性の向上】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動、国算(数)、生活単元学習等における、ICTを活用しての教育の実践。(児童:年10回以上)</li> <li>情報課によるアプリの紹介や活用方法の紹介（10回）</li> </ul>	「ICT教育への理解が深まり、ICT機器を活用した授業を実践できた。」と答える教員 80%	
	<p><b>9年間を見通したつながりのある段階的押さえの作成と授業づくり</b> 【カリキュラム・マネジメント】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>カリキュラムマネジメント委員会の実施(5回)</b></li> <li><b>9年間を見通しての段階的押さえの作成と学部間のつながりの検討。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>9年間の段階的な押さえを基に、年間計画を見直し、生活単元学習における学習内容が、生活年齢や発達段階に応じた構成になった。」と答える教員 90%。</b></li> </ul>	カリキュラムマネジメント委員会 教務図書課 各学部
	<p><b>自己実現を図るためのキャリア教育の推進</b> 【キャリア教育の推進】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>キャリア教育推進委員会におけるキャリア教育研修会の実施</b></li> <li><b>キャリア教育全体計画の作成</b></li> <li><b>キャリアパスポートの作成と授業における活用(3回)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「キャリア教育について理解でき、児童生徒の将来を見据えた学習や支援を進めることができた。」と答える教員 90%</li> </ul>	キャリア教育推進委員会 各学部
	<p><b>魅力ある体育指導の実践と児童生徒のスポーツへの興味・関心、体力の向上</b> 【体力向上の推進】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体育指導一覧表」に基づいて年間指導計画を立て、個々や集団の実態に合った授業を実践。</li> <li>ダンスやニュースポーツ等を取り入れた魅力的な授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的で魅力ある授業を実践し、児童生徒の技能や体力が向上した」と答える教員 90%</li> <li>「体育の授業が楽しい・好き」と答える児童生徒 80%</li> </ul>	体育課
ウ 連 携	<p><b>つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・関係機関・家庭との連携強化</b> 【センター的機能の充実】 【共生社会への取組】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>併施設との日々の連絡と<b>支援会議の実施(年10回以上)</b></li> <li>保護者面談の実施（年3回）情報を共有して指導に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育活動の中で、地域や関係機関、家庭とのつながりを生かすことができた」と答える教員 90%</li> </ul>	教務図書課 コーディネーター 各学部
	<p><b>学校や児童生徒について、地域への理解啓発</b> 【外部への理解啓発】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した様々な交流の実施 学校間・居住地交流 10回以上 地域学習 6回以上</li> <li><b>魅力ある体験(ピアノコンサート ドラムサークル ラグビー教室等)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域と児童生徒のつながりや役立ち方を考えて働きかけができた」と答える教職員 90%</li> </ul>	
	<p><b>学校や児童生徒について、地域への理解啓発</b> 【外部への理解啓発】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ掲載、回覧板・ポスターによる教育活動の紹介 12回以上</li> <li>ホームページによる作品紹介と校外作品展への出品5回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日頃の学習の成果を保護者や地域の方に啓発できた」と答える教員 90%</li> </ul>	情報課 図工・美術部